

2024年11月8日

次世代のデジタル渡航がもうすぐ現実に！ —IATA主催次世代のデジタル渡航実験に参加—

成田国際空港株式会社は、IATA（国際航空運送協会）が主催する 顔認証技術とデジタル資格証明『Verifiable Credentials（VCs）』を活用した次世代型のデジタル渡航実証実験に参加しました。

この実証実験は、キャセイパシフィック航空を利用する旅客が、スマートフォンのウォレットアプリを用いて航空券の購入および香港国際空港発（往路）と成田国際空港発（復路）の往復渡航行程でデジタル渡航手続きを行い、スムーズな旅行体験を実現するものです。

実証実験は10月21日（香港→成田）および10月22日（成田→香港）の2日間、模擬旅客2名により、実際のフライトを用いて行われました。

■ 実証実験の主な成果

香港空港の『Flight Token（注1）』と成田空港の『Face Express（注2）』という2つの異なる生体認証システムの相互運用を世界で初めて実現しました

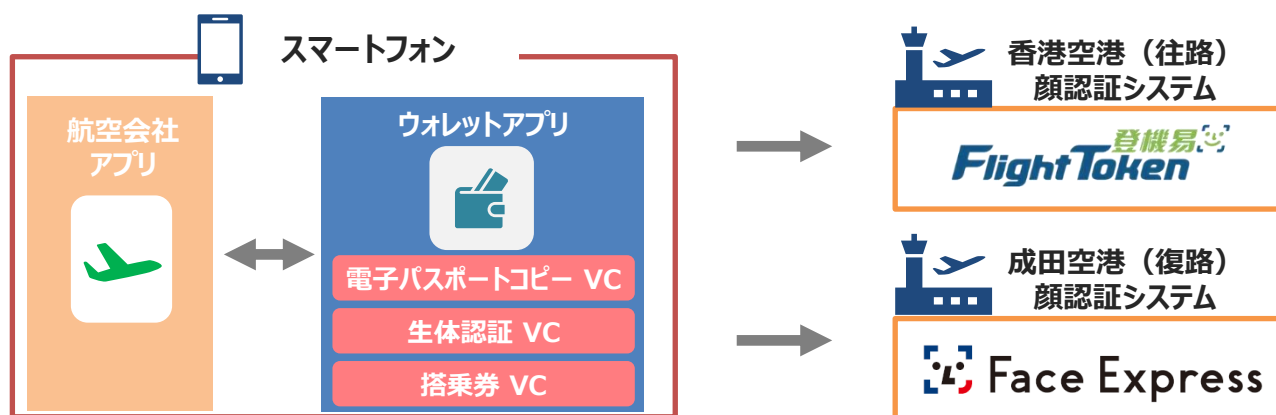
⇒旅客が事前にウォレットに登録したデータをもとに、香港空港と成田空港のいずれにおいても、出発時に顔認証で保安検査入口ゲートや搭乗ゲートを通り抜けることが確認できました

スマートフォンのウォレットに保存されたトークン（注3）を空港に送信する際にVCsの認証を行うことで、非常に高いレベルでデータ改ざん防止が図られました

今後も旅行需要の増加が見込まれる中、当社は、よりシームレスで快適な旅行体験をお客様に提供するため、Face Expressの更なる利便性の向上を図るとともに、IATAや関係者と協力しながら旅行体験のデジタル化を推進してまいります。

【実証実験でのデータの流れ（イメージ）】

- ・ オンラインチェックイン完了後、旅客はスマートフォンに保存されたVCを空港の顔認証システムに共有
- ・ 旅客は、両空港において、顔認証で保安検査入口ゲートや搭乗ゲートを通り抜ける



【実証実験の様子】

<https://youtu.be/ppMkhT5AzFk>

【参考：IATAのプレスリリース】

[IATA - Fully Digital Travel Experience Closer to Reality](https://www.iata.org/en/pressroom/2024/11/07/fully-digital-travel-experience)

注1：Flight Token（生体認証によるセルフサービス） <https://www.hongkongairport.com/en/passenger-guide/flight-token.page>

注2：Face Express（顔認証による新しい手続き） <https://www.narita-airport.jp/html/faceexpress/ja/index.html>

注3：トークン（旅客の顔画像情報、パスポート情報、搭乗券情報を紐づけた顔認証用ID）